

千葉県がんセンターと独立行政法人放射線医学総合研究所との
研究・医療協力に関する協定書の締結について

平成21年10月28日
千葉県がんセンター
電話043(264)5431

このたび、千葉県がんセンターと独立行政法人放射線医学総合研究所は、がん治療における医学・研究の相互協力を推進するため、研究・医療協力に関する協定を締結することとし、10月27日に調印式を行いました。

これは、病院との協定では財団法人癌研究会有明病院に次いで全国2番目で、同市内にある世界でも随一の重粒子線治療実績を持つ放射線医学総合研究所と、千葉県のがん対策の中心である千葉県がんセンターが連携するものです。

1 協定の目的

がん治療における医学相互協力、特に放射線部門の医学利用研究に関し相互協力を行い、千葉県及び我が国の放射線医学利用分野の発展・承継に寄与する。

2 協定の内容

(1) 協定による主な協力事項

- ① 医師・研究者等の職員及び医療・研究での交流
・放射線治療設備に関する技術情報の交流
- ② 研究施設・設備、研究資源等の相互利用
・重粒子線設備を活用した治療の展開 ・研究情報、施設等の相互利用
- ③ その他
・合同シンポジウム等による情報の発信

(2) 期待される成果

(治療面)

- ① 千葉県がんセンターの行っている治療に放射線医学総合研究所の重粒子線治療を選択肢として取り入れることで、より効果的な治療の組立てが可能となる。
- ② 千葉県がんセンターの患者のメリットとして、重粒子線による治療が受けやすくなり、患者の治療選択の幅が広がる。
- ③ 放射線医療総合研究所で重粒子線治療を受けた患者のメリットとして、その後の適切な治療を千葉県がんセンターで提供することができる。

(研究面)

- ① 研究資料、施設、設備等の情報交流や相互利用により、研究の推進が図られる。
- ② 双方の資源を活用した共同研究による推進が期待できる。
- ③ 合同のシンポジウム等により、研究成果の外部への発信も可能となる。

○千葉県がんセンターの概要

- ・日本で3番目に設立されたがんセンターで、都道府県がん診療連携拠点病院として千葉県のがん対策の中心的な役割を担っている。

所在地：千葉市中央区仁戸名町666-2

設立：昭和47年11月

病床数：341床

新入院患者数 6,511人（平成20年度）

新外来患者数 6,206人（ 〃 ）

- ・心と体にやさしいがん医療を掲げ、IMRT（強度変調放射線治療）などの先進医療や外来化学療法、内視鏡などによる低侵襲治療、緩和医療、在宅医療等を推進している。

○独立行政法人放射線医学総合研究所の概要

- ・設立：昭和32年7月 科学技術庁の附属機関として設立

所在地：千葉市稲毛区穴川4-9-1

- ・平成6年に世界で始めて炭素線（重粒子線）がん治療を始めた施設で、世界で随一の炭素線治療実績（5,000例強：平成21年7月現在）を持っている。
- ・今年10月に重粒子線がん治療15周年記念講演会を開催
- ・放射線単科の病院として重粒子医科学センター病院が設立されている。

設立：昭和36年5月

病床数：100床（現病院は平成8年10月竣工）